

令和5年度 社会教育委員 第3回定例会議の概要

1. 日時	令和5年10月13日(金) 14:00～16:00
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】10名出席</p> <p>【市職員】小岩教育部長 宮坂生涯学習課長、高島生涯学習主幹兼係長、宮坂社会教育指導員、平原人権・男女共同参画課長、野上更埴図書館業務係長、町田スポーツ振興課長、小野文化課長、小野歴史文化財センター主幹、山根教育総務課指導主事</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会(宮坂課長)</p> <p>2. ①あいさつ(宮坂課長)</p> <p>コロナの影響、インフルエンザの影響、猛暑もあり、考慮しながらであったが、千曲市20周年事業もあり、さまざまなイベントを実施できた。今日は上半期の報告、今後の予定、中学校の部活の地域移行について扱う。</p> <p>②あいさつ(小岩教育部長)</p> <p>公民館報に上山田のお寺での座禅についての記事が載っていた。自分も幼いころお寺で座禅をやったことを思い出した。このような取り組み大事なこと。事業は確実に進んでいる。ご確認をいただきたい。</p> <p>③あいさつ(小林京子委員長)</p> <p>猛暑できのこも生えないかと思っただが、季節が変わってきて、きのこも出てきた。私たち社会教育委員もコロナがあったが、歩みを進めたい。</p> <p>④人事異動について(宮坂課長)</p> <p>中村主事の紹介。若林係長の異動について。</p> <p>3. 会議事項(小林京子委員長：進行)</p> <p>(1) 上半期各課事業報告について(高島主幹兼係長)</p> <p>資料により上半期4月～9月までの各課事業報告。</p> <p>① スポーツ振興課(町田課長)</p> <p>スポーツ推進委員による活動について。千曲川ハーフマラソンを予定している。1,537名の応募があった。ファミリーマラソンの部を設け、小学生も参加できるようにした。日本サッカー協会と合同で「夢の教室」を実施している。新体操体験会は、全国スポーツ大会が千曲市を会場に行われるということで、周知のために行った。今年市民プールは、埴生中学生の清掃活動が再開され、16,509人の利用があった。</p> <p>② 歴史文化財センター(小野主幹)</p> <p>日本遺産月の都ちくまについての事業報告を行う。森將軍塚まつりを今年はおおむねコロナ前の体制で計画している。田植えは高校生、中学生が参加して行われた。縄文まつりもコロナ前のように予定している。</p> <p>③ 文化課(小野課長)</p> <p>アートまちかどの展覧会。千曲市総合芸術祭には1,000名を超える入場者があった。20周年記念事業ではコンサート、オペラなどを行った。あんずホール</p>

合唱祭、さざなみ音楽祭も開催した。

④ 図書館（野上係長）

子どもの日特別お話会、七夕お話会を実施。千曲市ブックスタート事業、セカンドブック事業は例年通り行っている。図書館まつりも実施した。

⑤ 健康福祉部 人権・男女共同参画課（平原課長）

人権ふれあいセンターを中心に運営している。これまでコロナでできなかったが、今年度、ほぼ全地区で人権の研修会を実施が計画されている。ふれあいセミナーは3回実施。第1回はポーランドからのオンラインで多くの参加があった。

⑥ 市公運協（宮坂課長）

市民講座でいとうまい子氏の講演を行った。男性の入場者も多く、公民館事業に関心を持ってもらった。成人式実行委員会実施。1月7日（日）開催を予定している。1回で行う形に戻す。実行委員長が女性になった。

⑦ 生涯学習課（高島主幹兼係長）

今年度はコロナの影響がほとんどなく、事業を実施している。姉妹都市射水市との交流学习も行った。千曲市20周年記念事業としては、特別子ども科学教室「サイエンスライブ」を行った。

(2) 各種研修会参加について（高島主幹兼係長）

7月13日 信州型コミュニティースクール推進セミナー

9月14日 長野県社会教育研究大会

(山崎委員) 県の総会で元気に挨拶された県の小池委員長が9月の大会に参加したら、急逝されたということを知り驚いた。

(小林いせ子委員)

公民館報について小岩部長に取り上げていただき、ありがたい。

(3) 今後の事業等について（高島係長・宮坂課長）

10月21日（土）午後1時から「地域ぐるみの共有フォーラム」

(4) 中学校部活動の地域移行について（千曲坂城クラブ事務局山根指導主事）

千曲坂城クラブが立ち上がった。マークは生徒から募集したマークである。部活動が学校教育の一環ではなく、社会教育として地域へ移行して行われていく。目的は、部活を地域移行することだけでなく、スポーツ文化芸術を通して街づくり絆づくりをしていく、生涯学び続ける個人と社会の Well-being の実現である。

すべての子どもたちに地域でスポーツ文化芸術に参加していくことを目指している。

会長は千曲市教育長が務めている。専門部は15発足した。その中に中学校ごとの「班」がある。

3月に設立総会を行い、活動がスタートした。まずは月1回～4回の休日の活動から始めた。平日はマイクロバスを使っての移動もしている。

指導者については、資質向上のための研修を行った。

千曲坂城クラブのように、自治体が主体になって地域移行を進めているのは、

県内初の試みであり全国的にも珍しい。視察が来たり、報道されたりしている。

有識者からの協力もいただいている。ホームページも立ち上げ、情報を得られるようになってきている。

現在、67パーセントの加入率。指導者は180名。そのうち、教員は、34パーセントくらいである。これまで3年生は春の大会後は引退であったが、千曲坂城クラブでは引退せず継続してクラブに参加できる。

おおむね肯定的な意見をいただいているが、課題とすると、移動の面、会費のこと、平日の活動のことなどが寄せられている。

今後の取り組みの重点としては、かかる費用について、賛助会員を募集するなどして、安定的な財政基盤をつくっていききたい。また、これからの共生社会に向けて稲荷山養護学校の生徒と一緒にやっていきたい。まずはポッチャ教室から始めてみる。平日の部活での学校間移動、指導者の確保などは検討課題である。

公民館、地域団体との連携についても探っていきたい。

4. その他（高島主幹兼係長）

（1）北信地区社会教育委員連絡協議会 第3回 理事会

令和6年1月26日（金） 於：中野氏中央公民館 委員長対応

（2）千曲市社会教育委員 第4回 定例会

令和6年2月 9日（金） 於：千曲市役所 302会議室
午後2時から（予定）

（3）社会教育委員任期満了に伴う改選について

（4）社教連会報 No.93 の配布について

【主な協議・意見・要望等】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

3. 一（4）に関する事

○小林いせ子委員

とてもいい資料を提示いただいたが、地域への回覧などはあるのか。このようなことは、地域の住民に認識してもらえるようなことをしたほうがよい。

▲山根指導主事

ありがとうございます。

○小林京子委員

学校の先生ではない指導者は足りているのか。

▲山根指導主事

種目によって違うが、充分足りているところと足りていないところがある。休日はよいが、平日の指導者の確保に課題がある。

○小林京子委員

地域に隠れた人材がいても、自分から進んで指導者になるという人は多くない。頼まれればという人もいるので、隠れた人材の発掘をしたほうがよい。

○小林いせ子委員

やはり周知が大切。千曲坂城クラブについて、知らない方の方が多い。「街づ

くり」ということなので、周知をお願いします。

○堀口委員

一番困っていることは何か。

▲山根指導主事

お金がないこと。送迎が難しい家庭もあるが、それに応えられる移動についてのお金がない。年会費は3,000円でやっていて格安で、これを値上げすればいいという声もあるが、経済的に厳しい家庭もある。すべての子どもたちのやってみたいという願いを実現するためには、会費も安くしていきたいが、経済的な基盤はしっかりさせたい。

○小林京子委員長

私は、総合型スポーツクラブをやっていて、補助金があるうちはいいが、お金がなくなるとうまくいかない。賛助金、寄付なども必要になってくる。みんなに知ってもらい理解してもらうことが大切。

○堀口委員

部活の地域移行については、社会教育委員として前向きに考えていくべきである。

5. 閉会（宮坂課長）